

2021年第10回村上春樹国際シンポジウム

村上春樹文学における「逸脱」(deviation)

プログラム

会場 **新型コロナウイルスのため、オンライン参加のみ**
 進行形式 両会場ともオンラインによる参加可 (ビデオ会議システムとしてMS Teamsを利用)
 時間 2021年6月5日(土)・6月6日(日)
 申込み先 <http://enroll.tku.edu.tw/course.aspx?cid=TFJX20210605>
 申込締切 2021年05月31日(月) 22:00までに



* 以下は全部台湾時間(日本・韓国は台湾より1時間進んでいます。)

1日目・2021年6月5日(土曜日)				
0920-0930	オンライン会議室の入室開始			
0930-0950	開会式 online	会場 オンライン会場A 開会挨拶 曾 秋桂(淡江大学教授兼村上春樹研究センター長・日本語文学科主任) 呉 萬寶(淡江大学外国語学部学部長) 村嶋 郁代(日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長) 司会 樋口 達郎(淡江大学助理教授)		
0950-1000	休憩時間			
1000-1100	基調講演1 online	会場 オンライン会場A 司会 黄 翠娥(輔仁大学教授) 題目 逸脱するメタファー —村上春樹のノによる修辞学— 講演者 中村 三春(北海道大学教授)		
1100-1200	基調講演2 online	会場 オンライン会場A 司会 頼 錦雀(東呉大学特聘教授) 題目 村上春樹の小説における《人格》と《キャラクター》の逸脱 —『騎士団長殺し』を中心に— 講演者 金水 敏(大阪大学教授)		
1200-1300	昼食時間			
1300-1305	セッション1 online	会場 オンライン会場A コメンテーター 范 淑文(台湾大学教授) 曾 秋桂(淡江大学教授)	セッション2 online	
1305-1325	創作バターの「逸脱」から見た『一人称単数』の装置 —村上春樹の意識の、あるいは魂のずっと深い場所に目を向けて— 樋口 達郎(淡江大学助理教授)		原作からの「逸脱」 —森泉岳土「蝨」(漫画)における〈削除〉の戦略— 山根 由美恵(山口大学准教授(特命))	
1325-1345	「逸脱」する短歌 —村上春樹「石のまくらに」小考—		村上春樹『ねじまき鳥クロニクル』における逸脱	
1345-1355	質疑応答		質疑応答	
1355-1400	休憩時間			
1400-1405	セッション3 online	会場 オンライン会場A コメンテーター 林 慧君(台湾大学教授) 頼 錦雀(東呉大学特聘教授)	セッション4 online	会場 オンライン会場B コメンテーター 林 立萍(台湾大学教授) 藤城 孝輔(岡山理科大学講師)
1405-1425	『約束された場所で underground 2』における逸脱		映画批評から受ける靈感 —村上春樹『騎士団長殺し』と鈴木清順—	
1425-1445	村上春樹作品における逸脱 —質的研究による探究— 落合 由治(淡江大学特聘教授)		質疑応答(1425-1430)	
1445-1455	質疑応答			
1455-1505	休憩時間			
1505-1510	セッション5 online	会場 オンライン会場A コメンテーター 周 玉慧(中央研究院研究員) 范 淑文(台湾大学教授)	セッション6 online	会場 オンライン会場B コメンテーター 林 雪星(東呉大学教授) 清水 泰生(同志社大学嘱託講師)
1510-1530	村上春樹文学に逸脱している女性ら —漱石文学の女性の痕跡として見なせるか?—		村上春樹のランニングと文学活動、ことば —スポーツ学、医学、生理学の視点から—	
1530-1550	Deviation from Mature, Humanity, and Normality: Dual Moons, Religious Aberration, and Parent-Child Discord in Haruki Murakami's 1Q84		阿部 翔太(広島大学博士課程後期) 〈小説家〉からの逸脱 —ラジオDJ、あるいは音楽家としての村上春樹—	
1550-1600	質疑応答		質疑応答	

主催 淡江大学村上春樹研究センター・淡江大学日本語文学科
 共催 科技部・台湾日本語教育学会・台湾日本語文学会
 後援 日本台湾交流協会台北事務所



2021年第10回村上春樹国際シンポジウム

村上春樹文学における「逸脱」(deviation)

プログラム

会場 **新型コロナウイルス拡大のため、オンライン参加のみ**
 進行形式 両会場ともオンラインによる参加可 (ビデオ会議システムとしてMS Teamsを利用)
 時間 2021年6月5日(土)・6月6日(日)
 申込み先 <http://enroll.tku.edu.tw/course.aspx?cid=TFJX20210605>
 申込締切 2021年05月31日(月) 22:00までに



* 以下は全部台湾時間 (日本・韓国は台湾より1時間進んでいます。)

2日目・2021年6月6日(日曜日)	
0950-1000	オンライン会議室の入室開始
1000-1100	基調講演3 online 会場 オンライン会場A 司会 頼 振南 (輔仁大学教授) 題目 村上春樹文学の世界における逸脱 講演者 沼野 充義 (名古屋外国語大学副学長)
1100-1105	休憩時間
1105-1110	セッション7 online 会場 オンライン会場A コメンテーター 邱 若山 (静宜大学教授) セッション8 online 会場 オンライン会場B コメンテーター 落合 由治 (淡江大学特聘教授)
1110-1130	齋藤 正志 (中国文化大学教授) *招待発表 「脚」の〈逸脱〉性 —主として「ハイヒール」と『国境の南、太陽の西』— 高橋 龍夫 (専修大学教授) *招待発表 「海辺のカフカ」における小説からの〈逸脱〉 —20世紀日本へのレクイエムとして—
1130-1150	石川 隆男 (台湾大学講師) 井庭 崇 (慶應義塾大学教授) *招待発表 逸脱した出来事が示唆するモノ —『女のいない男たち』をめぐって— 村上春樹の深い創造： 日常から逸脱した世界はいかにして生まれるのか
1150-1200	質疑応答
1200-1300	昼食時間
1300-1305	セッション9 online 会場 オンライン会場A コメンテーター 黄 如萍 (高雄餐旅大学准教授) セッション10 online 会場 オンライン会場B コメンテーター 齋藤 正志 (中国文化大学教授)
1305-1325	楊 琇媚 (南台科技大学准教授) 村上春樹「眠り」論 —「私」は逸脱しているのか— ダルミ カタリン (広島大学助教) 日本語版からの逸脱 —『羊をめぐる冒険』から考える村上春樹文学と魔術的リアリズム
1325-1345	王 佑心 (銘傳大学准教授) 村上春樹「めくらやなぎと眠る女」を読む —伏線としての「逸脱」— 佐古 恵里香 (京都精華大学非常勤講師) 村上春樹「クリーム」における〈逸脱〉の一考察 —中上級日本語学習者の言語転移の観点から—
1345-1355	質疑応答
1355-1400	休憩時間
1400-1405	セッション11 online 会場 オンライン会場A コメンテーター 楊 琇媚 (南台科技大学准教授) セッション12 online 会場 オンライン会場B コメンテーター 頼 雲莊 (東吳大学准教授)
1405-1425	黄 如萍 (高雄餐旅大学准教授) 内田 康 (京都府立大学共同研究員) *招待発表 〈逸脱〉としての「品川猿の告白」論 村上春樹「本のある空間をめぐる4つの断想」について —逸脱としてのテキスト—
1425-1445	葉 菱 (淡江大学助理教授) 村上春樹文学における日常生活からの逸脱 楊 炳青 (北京外国語大学准教授) 村上春樹文学における「逸脱」 —「象の消滅」における渡辺昇を中心に—
1445-1505	王 薇婷 (広島大学博士取得) 村上春樹文学における「逸脱」 —『神の子どもたちはみな踊る』を中心に— 鄒 波 (復旦大学准教授) 村上春樹短編小説の初出誌と読者意識 —1980年代の「逸脱」を中心に—
1505-1520	質疑応答
1520-1530	休憩時間
1530-1630	パネルディスカッション online テーマ 村上春樹文学における「逸脱」(deviation) 会場 オンライン会場A 司会 曾 秋桂 (淡江大学村上春樹研究センター長) パネリスト① 沼野 充義 (名古屋外国語大学副学長) パネリスト② 中村 三春 (北海道大学教授) パネリスト③ 高橋 龍夫 (専修大学教授) パネリスト④ 井庭 崇 (慶應義塾大学教授) パネリスト⑤ 鄒 波 (復旦大学准教授) パネリスト⑥ 范 淑文 (台湾大学教授)
1630-1700	総合討論
1700-1710	閉会式 online 会場 オンライン会場A 閉会挨拶 曾 秋桂 (淡江大学教授兼村上春樹研究センター長・日本語学専攻主任) 司会 樋口 達郎 (淡江大学助理教授)

主催 淡江大学村上春樹研究センター・淡江大学日本語学専攻
 共催 科技部・台湾日本語教育学会・台湾日本語文学会
 後援 日本台湾交流協会台北事務所

